

学習状況診断票（数学） 中学校 第1学年

1年 組 番 氏名 _____

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点			
	大問	小問	通番		考見 え方 方や	表 処 理	知 理 解	
数と式	①	1	1	正の数，負の数の分数を含む加減の計算をすることができる。				
		2	2	正の数，負の数の累乗を含む乗法の計算をすることができる。				
		3	3	正の数，負の数の分数を含む除法の計算をすることができる。				
		4	4	正の数，負の数の減法と乗法の混じった式の計算をすることができる。				
		5	5	1次式の項をまとめて計算することができる。				
		6	6	分配法則を使ってかっこをはずし，1次式の計算をすることができる。				
	②	1	7	正の数，負の数の絶対値を含む大小関係を理解している。				
		2	8	正の数，負の数の四則計算の仕方を理解している。				
	③	1	9	数量関係を文字を使った式で表し方を理解している。				
		2	10	文字式に数を代入して，式の値を求めることができる。				
		3	11	文字を使った式の表す意味を考慮することができる。				
	④	1	12	等式の性質を使って方程式を変形できることを理解している。				
		2	13	1次方程式を解くことができる。				
	⑤	1	14	問題の数量関係を表す線分図として適切なものを考えることができる。				
		2	15	方程式をつくるため問題の数量を関係付けて考えることができる。				
			16	方程式を解いて，問題の答えを求めることができる。				
	⑥	1	17	ご石の数の求め方を文字式を使って説明することができる。				
		2	18	ご石の数を求める式から，ご石の求め方を説明することができる。				
数量関係	⑦	1	19	平面上の点の位置を表す方法として座標の意味を理解している。				
		2	20	比例のグラフの式の求め方を考えることができる。				
	⑧	1	21	比例で， の値に対するyの値を求めることができる。				
		2	22	比例定数が負の数の場合のグラフをかくことができる。				
	⑨	1	23	反比例で， の値に対応するyの値を求めることができる。				
		2	24	反比例において， とyの値の変化の特徴を理解している。				
	⑩	1	25	具体的な事象の関係を表すグラフをよみとり考えることができる。				
		2	26	具体的な事象の関係を表すグラフをよみとり，その理由を数学的な表現を用いて説明することができる。				
						/8	/12	/6

今後の学習に向けて *自分が頑張りたいところに を付けたり，下線を引いたりしましょう。

「見方や考え方」を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> 筋道を立てて考える力を身に付けるために，既に学習した計算の仕方や定理を使い，根拠を明らかにして課題を追究しましょう。 文字を使った式がどんな数量を表しているのかを考えるためには，1つ1つの文字や式が，問題文や図の中で，どんな数量を表しているのかを考えるようにしましょう。 方程式を使って文章問題を解くには，求めたい数量を文字で表し，問題文から線分図や表などを利用して数量関係を整理し，等しい関係にある数量から方程式に表すようにしましょう。 比例のグラフから直線の式を求めるには，原点以外のもう1つの点の座標から比例定数を求めることができないか考えてみましょう。 家庭においても，教科書やノートを使って，答えを出すために使った根拠を確かめましょう。
「表現・処理」の力を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> 計算する力を身に付けるために，途中の計算の式を大切に答を出しましょう。 正の数，負の数や1次式の計算では，計算のきまりに従って，ていねいに式を書き，計算するようにしましょう。 についての方程式を解くには，等式の性質や移項を使い，筋道立てて途中の式を書き，解を導き出しましょう。 yが に比例することや反比例することが分かっているとき，その関係をもとにして，式から対応する値を正確に求めたり，グラフから点の座標を正確によみとったりしましょう。 家庭においても，教科書やノートを用いて授業の復習を行い，同じような問題に数多く取り組むことで，計算する力や，表，式，グラフを活用する力を身に付けましょう。
「知識・理解」の力を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> 計算の仕方を理解して身に付けるために，授業のまとめは黒板の内容を写すだけでなく，自分なりに工夫してまとめましょう。また，授業で数学の用語・記号を正しく使えるようにしましょう。 数の大小を考えたり，加法と減法の混じった式の計算をしたりするには，符号や絶対値，計算の規則に目をつけて考えればよいことを復習しましょう。 方程式を解くには，等式の性質や移項を使って解いていることを確かめましょう。 座標平面上に表された点の座標の表し方を確かめましょう。 家庭においても，教科書やノートを用いて，数学の用語・記号の意味や計算のきまりなど確実に理解しましょう。